

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
名取市	名取市	平成 2 7 年度～令和元年度	平成 2 7 年度～令和元年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	%
	総資源化量	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	4, 026	3, 715	58. 0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	5. 3 %	4. 7 %	-16. 7%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	3, 554	2, 172	0. 0%

※目標未達成の指標のみを記載。

## 2 目標が達成できなかった要因

計画初年度である平成 27 年の実績を考慮し、以降の年度の申請においては設置基数を調整したものの、5 箇年で 170 基の当初申請に対し 87 基の実績となった。

本計画の目標は、名取市生活排水処理基本計画の目標と同値であり、未処理人口は 0 人として計画されていた。これは、基本計画策定時における過去 5 年間の未処理人口の減少平均値で減少を続けるものとして設定されたが、経済的な問題や高齢化による相続、世代交代等の問題もあり、合併処理浄化槽設置及び公共下水道接続の普及活動を行ってきたものの、未処理人口 0 人には及ばなかった。

浄化槽の人口比は目標に対し 58.0%であるが、目標設定が、汲み取り及び単独処理浄化槽からの移行、公共下水道区域内の未接続人口を見込んで計画されており、上記未処理人口の解消にならなかったことと、新たに公共下水道を整備した区域で接続切り替えが行われたことから、浄化槽人口が減となっているものと思慮される。

また普及率においては、浄化槽人口が減になったことに加え、計画に対し総人口が大幅に増えたこと、その人口増が公共下水道区域であることから、減になったと考えられる。

## 3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和 7 年度まで

本市の整備計画は個人設置型の合併処理浄化槽設置補助の為、各世帯への訪問等による必要基数の調整を行うとともに、普及活動を実施し、市内全域の公共用水域の水質保全と公衆衛生の改善を図り、環境衛生の向上に努める。

### (都道府県知事の所見)

総人口に占める汚水衛生未処理人口の割合は人口増の影響により相対的に下がっているが、当初設定していた高い目標を達成することができなかった。

高齢化の進展による年金世帯の増加等の影響により、浄化槽区域においては合併処理浄化槽への転換が進みにくい現状にあるが、今後の人口動向や世帯構成の変化を勘案し、施設整備の費用対効果を検討しながら、汚水処理の方法を検討し、効率的な施設整備に努められたい。